



介護の現場で「行動制限」をどう受け止めるか

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（99）】行動制限を受け入れてもらうための『手紙』

公開日：2020/05/05 (ソサエティ, コロナ (国内))

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム理事長)



写真AC

ある日の午後、施設の利用者が外出しようとしていたので、相談員はお声をかけました。

「どちらに行かれますか」。

「ちょっとそこまで散歩。私は元気なのでコロナにはかからないから」。

緊急事態宣言を受けて、ケアハウスやサービス付き高齢者向け住宅でも不要不急の外出を控えるよう利用者をお願いしましたが、その人はその日3度目の外出でした。

要介護者が入所している介護施設とは違い、それらの施設の利用者は自立している人が多くいます。

環境的にも私たちの施設は商店街の中にあるので、日頃から自由に外出していらっしゃるのです。

だから、どのようにすれば外出を控えてもらえるか頭を悩ましました。高齢者に行動変容を求めるのは相当困難です。

その反面、お部屋に閉じこもると、身体機能の低下や認知症の発症、鬱症状に陥るのではないかという心配もつづります。

そのため、利用者の不安を取り除き、緊急事態宣言による行動制限を前向きに受け止めてもらえるような方法がないかを模索しました。

考えついたのは、利用者一人一人に次のようなお手紙を出し、ある方からいただいたガーベラ（花言葉は希望・前進）をプレゼントすることです。



緊急事態宣言が出ました。

重要ではなく急ぎでもない不要不急な外出は、控えるよう協力を求められています。

でも、お部屋に閉じこもって動かなくなると、身体の機能が衰えたり、物忘れが進んでしまいます。

そこで、皆さんにお勧めしたいことがあります。

健康維持のための散歩や生活必需品の買い物は、マスクをして一日1回を目安に行いましょう。

なるべく短時間で周りの人と2メートルの距離を取って行いましょう。

一日に何度も外出をしなければならない用事があれば、ご遠慮なく相談してください。

お部屋ではお花を飾って水やりすると心が癒されます。また、自分の体調に合わせて、水分補給をしながらラジオ体操や足踏みなどをして、筋力を低下させないようにしましょう。

この際、自分史を作ったり、認知症予防のため脳トレ問題にチャレンジしませんか。ご希望の方はノートやプリントを配布します。

私のストレス解消法は、毎日聖書を読んでお祈りすることです。

先日病にかかった女性が、イエスさまの着物を触って癒された箇所を読みましたので、ご紹介します。

この女性は感染を疑われる病にかかっている、いろいろな治療をしましたが、かえって悪くなる一方でした。

彼女はイエスさまのことを知って、着物に触ることでできれば癒されるのではないかと考え、群衆の中に紛れ込んで大胆な行動に出たのです。

イエスさまはその女性に気づき、「あなたの信仰があなたを直したのです。安心して帰りなさい。病気にかからず、すこやかでいなさい」と言って、癒してくださいました。

今も変わらずイエスさまは私たちにも同じように語っておられます。

病気にかからず、すこやかでいるようにと。

毎朝、皆さんのためにお祈りしています。体調の変化や不安なことがあれば、いつでも相談にお越しください



お手紙とガーベラの効果は、利用者からのありがたい言葉だけでなく、外出の自粛につながりました。

けれども、問題はこれだけではありません。

デイサービスなどや病院受診による外出です。

3密には配慮されているにしても、それらの場所には多くの高齢者が集まり、感染リスクは低くありません。

いくら外出を控えるようお願いしても、デイサービスなどを利用して感染する

と、施設に新型コロナウイルスを持ち込むことになります。

一番怖いのは、施設に感染者が出ることで起こる施設崩壊です。

そこで、ご本人やご家族、ケアマネジャーなどに相談し、介護サービスの利用について調整をすることにしました。

その結果、デイサービスなどを利用しなくても過ごせる軽度の人、期限を決めて利用を中止することになりました。

サービスを利用しなければ生活に支障の出る人は、時間短縮や回数を減らすことで、いったん様子を見ることにしました。

病院受診はかかりつけの医師に相談することを提案しました。

施設としてできる対策はしましたが、なお不安は拭えません。

あとは祈るばかりです。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子のバックナンバー](#)
- > [緊急事態宣言は本当に必要だったのか](#)
- > [東電会長人事が、「予想通り」失敗した理由](#)
- > [コロナ後の世界 インフレよりデフレの警戒を](#)
- > [米国が似る覇権国アテネ、疫病流行後にスパルタに敗戦](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム理事長）

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設運営。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開業。2019年ニュースソクラのコラムを加筆・修正して「尊厳ある介護」を岩波書店より出版。

[この記事編集](#)

ソクラとは	FAQ
編集長プロフィール	利用規約
利用案内	プライバシーポリシー
著作権について	特定商取引法に基づく表示
メイキングソクラ	お問い合わせ
お知らせ一覧	コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved